

(4) 水道料金

令和 6 年度の有収水量 1 m³当たりの給水原価は153.9円、供給単価は159.5円となった（図-10）。令和 5 年度と比較し、給水原価は 1.8 円高くなり、供給単価は 7.0 円高くなっている。

給水原価、供給単価を全国と同年度で比較すると、直近の令和 5 年度水道統計によれば、全国平均の給水原価は 177.56 円、供給単価は 173.90 円となっているのに対し、大阪府の給水原価は 152.1 円、供給単価は 152.5 円となり、令和 5 年度は給水原価、供給単価の両方で全国平均を下回っていた。

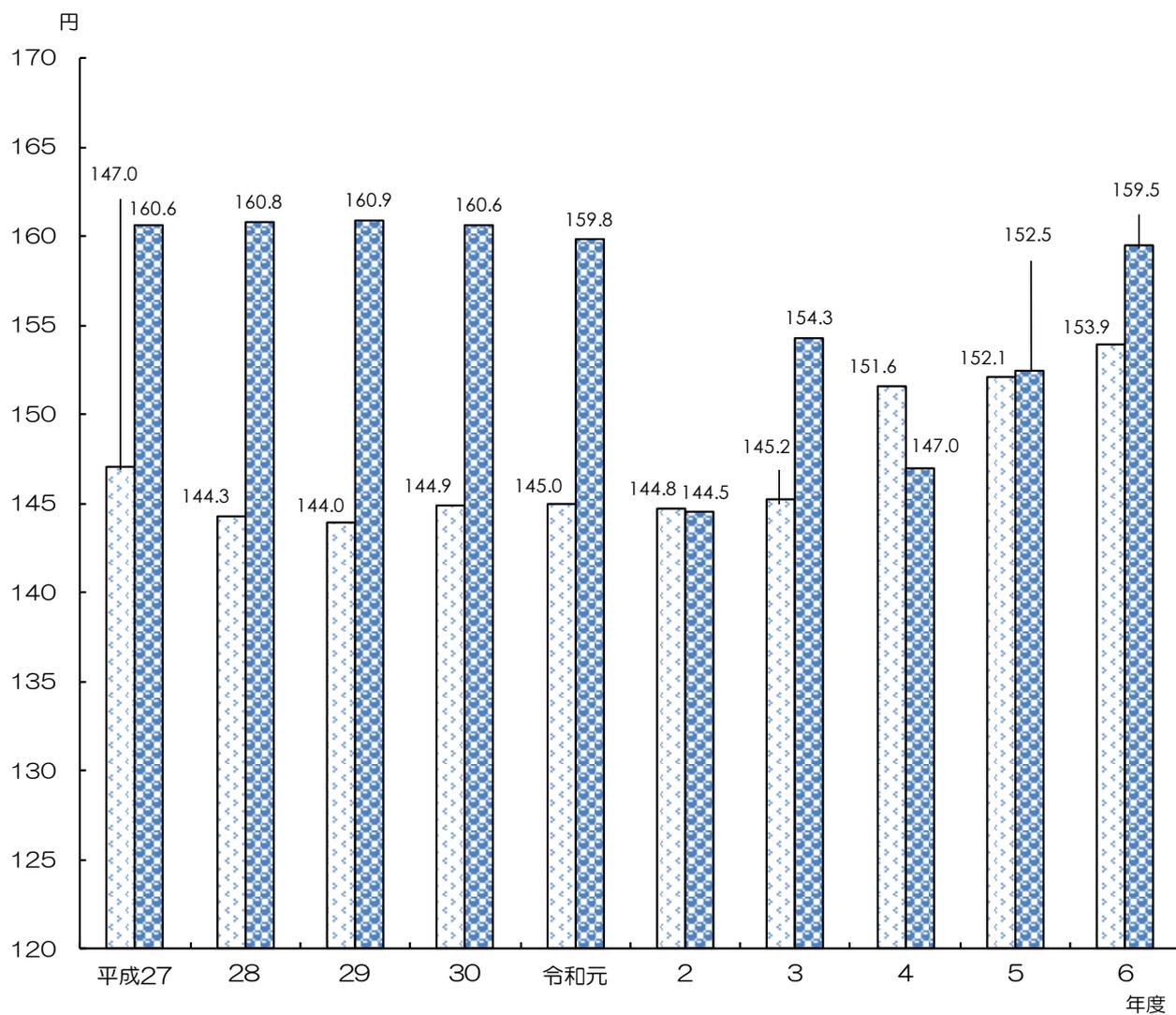
表-15 のとおり事業間で格差が生じているが、家庭用 1 ヶ月 20m³(口径別料金の場合 13mm) 当りで換算して比較すると 2,600 円以上 2,800 円未満及び 2,800 円以上 3,000 円未満の事業が最も多くなっている。

また、最高料金は 4,955 円で最低料金 2,035 円の 2.43 倍となっている（表-15）。

表-15 家庭用水道料金（上水道）

1 ヶ月 20m ³ 当り換算		令和7年3月31日現在 事業数
2,000円未満		0
2,000円以上	2,200円未満	2
2,200円以上	2,400円未満	1
2,400円以上	2,600円未満	7
2,600円以上	2,800円未満	9
2,800円以上	3,000円未満	9
3,000円以上	3,200円未満	7
3,200円以上	3,400円未満	3
3,400円以上	3600円未満	1
3,600円以上	3,800円未満	0
3,800円以上	4,000円未満	1
4,000円以上		2
（備考）最低料金	2,035 円	
最高料金	4,955 円	

図-10 給水原価と供給単価（上水道）




 給水原価 =
$$\frac{\text{經常費用} - \text{受託工事費} - \text{長期前受金戻入等}}{\text{年間総有収水量}}$$


 供給単価 =
$$\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}}$$